

日本発インシュアテックの挑戦 12

(株)インフォディオ

「スマートOCR」で業務効率化貢献

複雑な保険証券を簡単にデータ化

来店型保険ショップ「保険クリニック」を展開する(株)インフォディオ(東京都文京区)は、AIを活用した代理店や保険契約者向けのシステムやソリューションを提供している。中でも同社の主力ソリューションである「スマートOCR」は、紙の保険証券などを独自のAIディープラーニングOCRエンジンによりデータ化することで、保険会社や代理店などの業務効率化や生産性向上に貢献している。「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。

代理店が各保険会社の紙のパンフレットを並べ顧客に商品情報を提案していたものを、一つのシステムに集約して視覚的な比較・選択を可能にし、よりスムーズな提案を可能にした。また、「顧客契約管理システム」は、当時代理店がエクセルで管理していた顧客・保険情報をウェアシステム化し、大幅な業務の効率化



「スマートOCR」のイメージ

「スマートOCR」の提供に注力している。同ソリューションは16年から提供を開始したもので、スマートフォンなどで撮影した紙の書類・帳票の写真を「スマートOCR」のクラウドに取り込み、自動でデータ化する。一般的にOCRは保険証券や健康診断書などの複数項目にわたる非定型帳票の読み取り精度が課題となっていた。そのほか、iOS

「スマートOCR」は保険代理店にとどまらず多くの業種で採用されており、ある大手旅行代理店では2時間を要した経理業務が10分に効率化されるなど企業の業務効率向上をサポートしている。特に導入企業からは、あらかじめ店舗情報と店舗コードを紐付けすれば、店舗名を読み取る際に自動でコードが付与される「マスター機能」が好評だという。

同社では「スマートOCR」のバージョンアップに取り組みしており、5月から「スマートOCR診療明細書」の開発に着手している他、8月からは「スマートOCR健康診断書」を販売開始している。また、年内には「スマートOCR」に「AI-EX」を搭載したソリューションを販売予定だ。これにより、利用者は帳票定義の事前設定をしなくても、学習モ

AIで自動化するソリューション実現目指す

ユーティリティは代理店の目線で開発したものが多くある。初めて開発した「保険IQシステム」は、従来

を実現した。加えて、「AS-BOX」では11社の生保会社と連携することにより、生保商品の検索から申し込みまでの

・Andorroidのアプリ開発やウェアシステム開発、FX関連アプリなども手掛けている。現在、同社では「スマ

るが、同ソリューションであれば非定型帳票の約9割を認識・交換できることが強みだ。また、このソリューション

「AI-EX」を搭載したソリューションを販売予定だ。これにより、利用者は帳票定義の事前設定をしなくても、学習モ



勝本CEO

同社の設立は2002年。勝本CEOは独立系ソフトウェアハウスでエンジニアを務めていたが、起業したいと思うようになった。その時に実弟であるアイリックコーポレーションの勝本竜二社長から、同社が提供するソリューションの提供を受けることになった。

長兼CEOから代理店向けシステムを開発してほしいとの相談を受け、アイリックコーポレーションから出資を受けて立ち上げた。

「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。

「スマートOCR」は、紙の保険証券などを独自のAIディープラーニングOCRエンジンによりデータ化することで、保険会社や代理店などの業務効率化や生産性向上に貢献している。「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。

「スマートOCR」は、紙の保険証券などを独自のAIディープラーニングOCRエンジンによりデータ化することで、保険会社や代理店などの業務効率化や生産性向上に貢献している。「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。

「スマートOCR」は、紙の保険証券などを独自のAIディープラーニングOCRエンジンによりデータ化することで、保険会社や代理店などの業務効率化や生産性向上に貢献している。「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。

「スマートOCR」は、紙の保険証券などを独自のAIディープラーニングOCRエンジンによりデータ化することで、保険会社や代理店などの業務効率化や生産性向上に貢献している。「技術力をさらに高め、契約者のリスク分析から保険提案まで、AIで自動化するソリューションを実現させたい」と話す勝本伸弘代表取締役兼CEOに、同社の実績や今後の展望などについて聞いた。